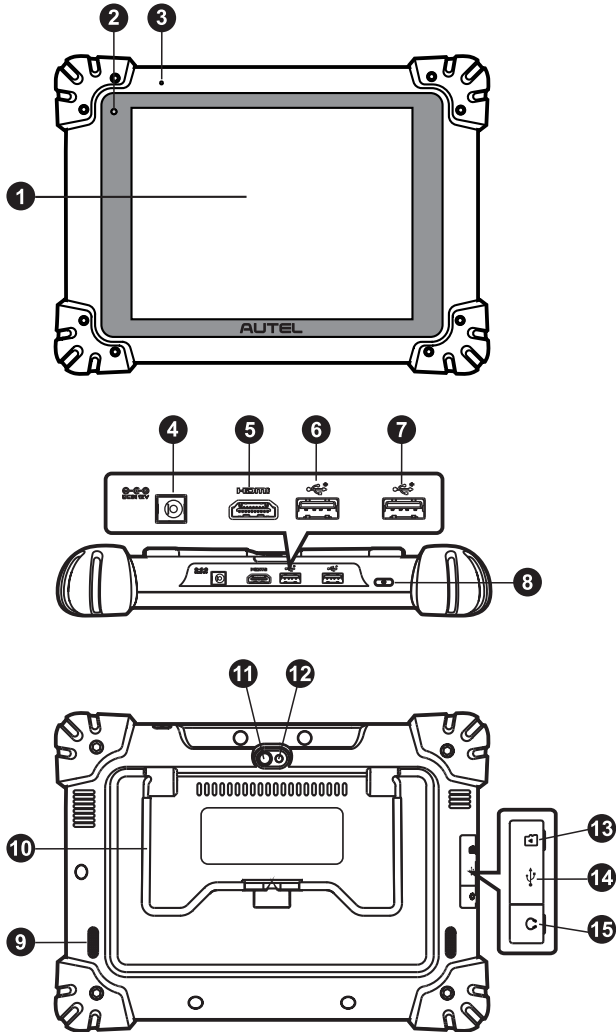


MaxiSys CVをご買い上げいただきありがとうございます。このスキャンツールは高水準で製造されており、要領書に従って適切に取り扱っていただくことで、長期間トラブルフリーなパフォーマンスが得られます。

## MaxiSys CV ディスプレイタブレット



### 製品の説明

MaxiSys診断プラットフォームは革新的なアンドロイドマルチタスクオペレーティングシステムをベースにしており、強力なCortex A7 + A15 6コアプロセッサを使用し、9.7インチLED静電容量式タッチスクリーンを備えています。OEレベルの診断を最大限にカバーし、お客様からの依頼を簡単、迅速、効率的に対応できます。

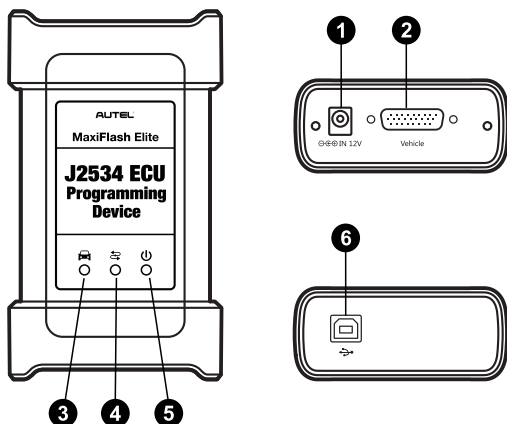
MaxiSysシステムには2つの主要コンポーネントがあります。

- MaxiSysディスプレイタブレット - システムの中央プロセッサとモニター
- 車両通信インターフェース (VCI) - 車両データにアクセスするためのデバイス

1. 9.7インチLED静電容量式タッチスクリーン
2. 周囲ライトセンサー-周囲の明るさを検出します
3. マイクロフォン
4. DC電源入力ポート
5. HDMIポート
6. USBポート
7. USBポート
8. ロック/電源ボタン-長押しでMaxiSysツールのオン/オフを切り替えたり、短押しで画面をロックします
9. オーディオスピーカー
10. 折りたたみ式スタンド-背面から伸び、ディスプレイタブレットを30度の角度でハンズフリーで使うことができます
11. カメラレンズ
12. カメラフラッシュ
13. ミニSDカードスロット-オプションモジュール
14. ミニUSBポート
15. ヘッドフォンジャック

## J2534 ECUプログラミングデバイス

MaxiSys CVに付属



1. DC電源入力ポート
2. 車両データコネクタ (DB26ピン)
3. 車両LED - デバイスが車両のシステムと通信しているときに緑色に点滅します。
4. 接続LED - デバイスがUSBケーブルを介してディスプレイタブレットに正しく接続されている場合は緑色に点灯するか、ワイヤレスBTを介して接続されている場合青色に点灯します。
5. 電源LED - デバイスの電源がオンになると緑色に点灯します。
6. USBポート

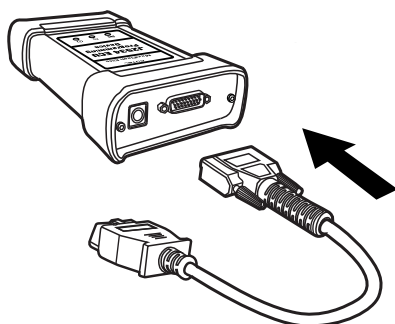
**!** 重要: 車両のLEDが点灯している間にプログラミングデバイスを取り外さないでください。車両のECUが空白であるか、部分的にしかプログラムされていないときにプログラミング手順を中断する場合、モジュールが回復不能になる可能性があります。



**重要:**本製品を操作または保守する前に、これらの指示をよく読んで、安全上の警告と注意事項を特に注意してください。これを怠ると、損傷や人身傷害を招く可能性があり、製品の限定保証が無効になります。

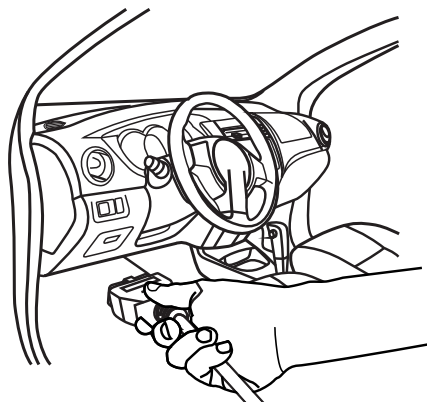
1

メインケーブルのメスアダプターをVCIユニットの車両データコネクタに接続してから、固定ネジを締めます。



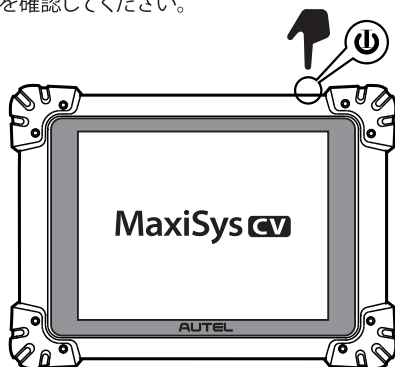
2

ケーブルの16ピンオスアダプターを車両のDLCに接続してください。DLCは通常、車両のダッシュボードの下にあります。



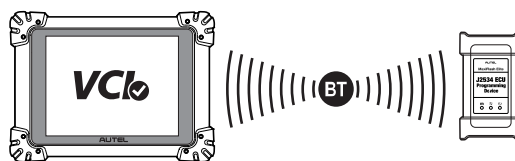
3

MaxiSysディスプレイタブレットの電源を入れ、タブレットが充電済みのバッテリーを備えているか、DC電源に接続されていることを確認してください。



4

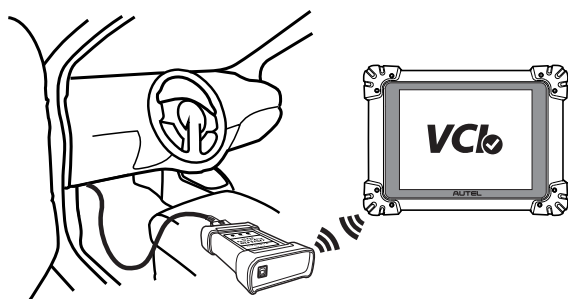
ワイヤレスBTを介してディスプレイタブレットとVCIデバイスをペアリングし、通信リンクを確立してください。



**注:**MaxiSysディスプレイタブレットとVCIデバイスは、初めて使用するときに互いに自動的に同期するように構成されているため、ペアリングを実行する必要はありません。

5

VCIデバイスが車両とMaxiSysディスプレイタブレットに適切に接続されている場合、ディスプレイ画面の下部バーにあるVCIステータスボタンの角に緑色のチェックマークが表示され、プラットフォームが車両診断を開始する準備ができていることを示します。



6

「アップデート」を押して、利用可能な車診断ソフトを更新しましょう。



サービス&サポート

🌐 pro.autel.com | www.autel.com  
✉ support@autel.com | support.jp@autel.com

お問い合わせがございましたら、上記のメールアドレスにてご連絡するか購入元にご連絡ください。